

FUJITSU Software

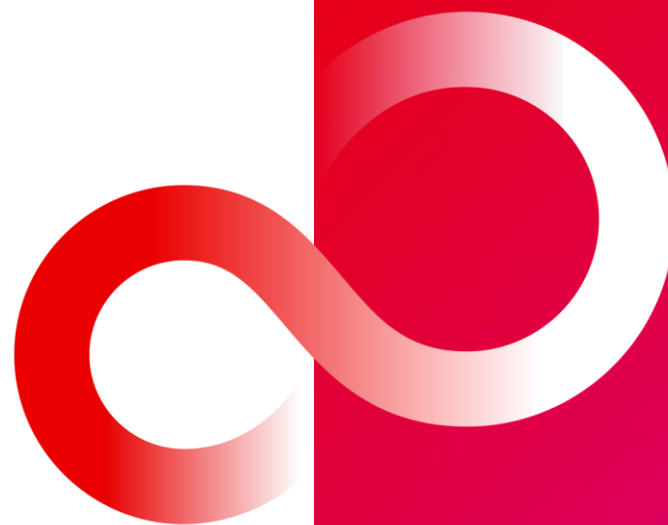
シンプルア ティーエフ・リンダ

SIMPLIA TF-LINDA

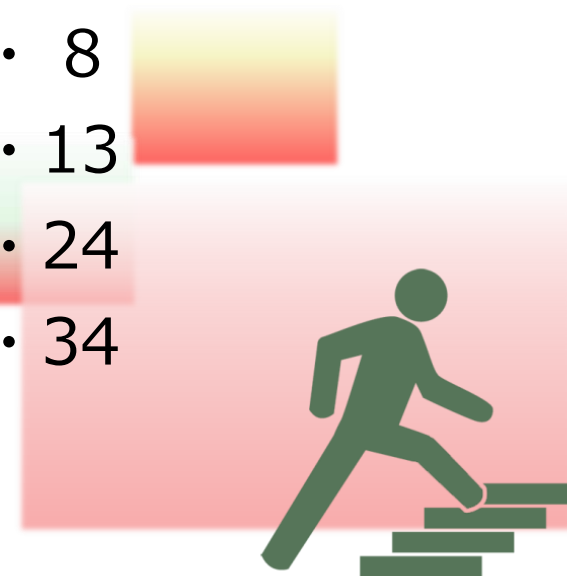
ご紹介

第35.7版

富士通株式会社

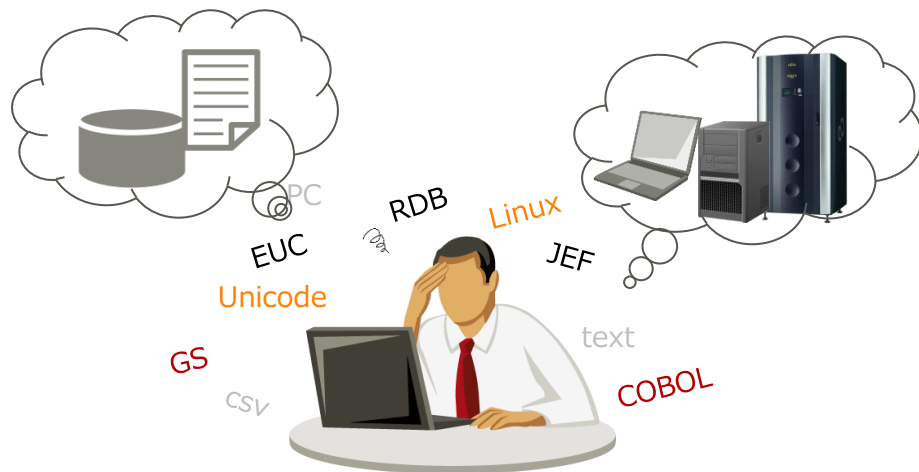


1. テストデータ作成の問題点	・ ・ ・	3
2. SIMPLIA TF-LINDAのご紹介	・ ・ ・	4
3. 対応プラットフォーム一覧	・ ・ ・	5
4. SIMPLIA TF-LINDAの機能別対応製品	・ ・ ・	6
5. SIMPLIA TF-LINDAの操作の流れ	・ ・ ・	7
6. 新製品紹介	・ ・ ・	8
7. 機能紹介	・ ・ ・	13
8. 製品一覧	・ ・ ・	24
9. プログラムサポートサービス	・ ・ ・	34



1. テストデータ作成の問題点

- テストデータを作成する上で様々な問題点があります。



- 簡単に作成したい
- 大量のデータを作成したい
- 異なるプラットフォームで使用したい
- テスト結果のデータを検証したい



これらの問題点をSIMPLIA TF-LINDAが解決します

- テストデータ作成のコストを軽減します。
- 環境を意識せずに、PC上からテストデータ作成/検証作業ができます。
- 豊富なデータ編集/検証機能で、データ作成を効率化できます。またデータ検証の品質が向上します。

2. SIMPLIA TF-LINDAのご紹介

ソフトウェア開発において、テスト工程はその品質と信頼性を左右する重要な要素の一つです。『SIMPLIA TF-LINDA』は、テストデータを汎用的に作成できるテストデータ作成/検証支援ツールです。

従来、テストデータの作成に費やしていたコストを軽減できます。

テストデータを作成する環境（プラットフォーム、データ種別、文字コード）が複数ある場合、PC上から同じ操作でテストデータ作成/検証作業ができるため、導入コストが削減できます。

データ編集/検証のための豊富な機能により、データ作成作業の効率化、検証品質向上を支援します。

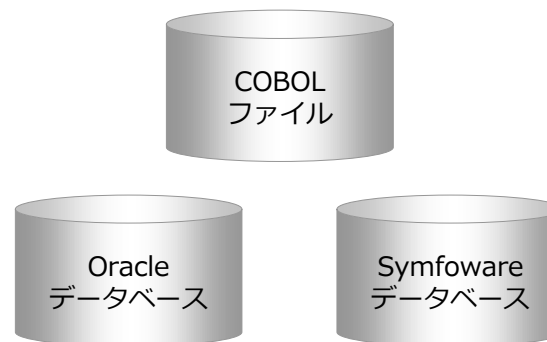
各プラットフォームに対応した製品を用意しています。

PCクライアント、Windowsサーバ、Solarisサーバ、Linuxサーバ上にあるデータを扱えます。



各データ種別に対応した製品を用意しています。

COBOLファイル、Oracleデータベース、Symfowareデータベースを扱えます。



各種文字コードのデータ編集が可能です。

SJIS、EUC、Unicode、JEFで作成したデータを扱えます。

3. 対応プラットフォーム一覧

対象資産、プラットフォームごとに製品を用意しています。

	Windows (スタンドアロンPC)	Solaris サーバ	x64-Linux サーバ
スタンドアロン版 <ul style="list-style-type: none">• SIMPLIA TF-LINDA (32bit)• SIMPLIA TF-LINDA (64bit)			
COBOL連携版 <ul style="list-style-type: none">• SIMPLIA TF-LINDA (COBOL)			
RDB連携版 <ul style="list-style-type: none">• SIMPLIA TF-LINDA (Symfoware)• SIMPLIA TF-LINDA (ORACLE)		 	

4. SIMPLIA TF-LINDAの機能別対応製品

	スタンドアロン版	COBOL連携版	RDB連携版
データ作成/編集機能 <ul style="list-style-type: none"> 豊富な編集機能による、データ作成/編集作業の効率化 16進数（バイナリデータ）やUnicode固有文字など、特殊/異常データの作成 データの自動生成、大量データの一括作成 	<input checked="" type="checkbox"/> <input checked="" type="checkbox"/> <input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/> <input checked="" type="checkbox"/> <input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/> <input checked="" type="checkbox"/> <input checked="" type="checkbox"/>
データ検証機能 <ul style="list-style-type: none"> 豊富なデータ抽出機能により、対象となるデータの絞込みが容易 データの検索機能、ソート機能により、データの特特定が容易 データの印刷機能による、机上検証が可能。納品ドキュメントなどへの流用 SQL文の直接実行機能による、柔軟な問い合わせ、データ検証が可能 	<input checked="" type="checkbox"/> <input checked="" type="checkbox"/> <input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/> <input checked="" type="checkbox"/> <input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/> <input checked="" type="checkbox"/> <input checked="" type="checkbox"/>
データベースサポート機能 <ul style="list-style-type: none"> データベースへのロード・アンロード処理をTF-LINDA上から実行可能 データベース定義情報（表一覧/列一覧/インデックス一覧）の確認が可能 			<input checked="" type="checkbox"/> <input checked="" type="checkbox"/>
監査・ログ機能 <ul style="list-style-type: none"> 接続中のユーザ情報、使用中の資源情報などを表示可能 		<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>
データインポート・エクスポート機能 <ul style="list-style-type: none"> 異なる文字コード/ファイル形式へのエクスポート、インポートが可能 	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>

5. SIMPLIA TF-LINDAの操作の流れ

各製品の操作の流れは以下のとおりです。

スタンドアロン版

COBOL連携版

RDB連携版

サーバプログラムの起動

- ・ TF-LINDAサーバプログラムを起動します。

サーバへの接続/認証

- ・ クライアントから接続処理を行います。
(ユーザID/パスワード認証)

編集対象資産の選択

- ・ 編集対象となる資産の指定を行います。(ファイル名(表名)、ファイル編成、文字コードなど)
- ・ データ抽出(絞込み)のための条件を指定します。

データの作成/編集作業

- ・ データの作成、更新などの編集作業を行います。大量データを一括して生成できます。

データの保存

- ・ 編集内容を保存します。
(この操作を行うまでは、実際のファイル、データベースへの変更は行われません。)
- ・ 更新時にエラーが発生した場合、エラー内容の通知とエラー箇所が表示/修正ができます。

サーバからの切断

- ・ クライアントから切断処理を行います。

サーバプログラムの終了

- ・ TF-LINDAサーバプログラムを終了します。

スタンドアロン版TF-LINDA (64bit) V81

- 最新OSをサポートしました。
 - Windows 11、Windows Server 2022に対応しました。
- V81L10に対し、以下の機能を追加しました。
 - ユーザーズガイドの記述内容を改善しました。



スタンドアロン版TF-LINDA (32bit) V81

- 最新OSをサポートしました。
 - Windows 11、Windows Server 2022に対応しました。
- V81L10に対し、以下の機能を追加しました。
 - ユーザーズガイドの記述内容を改善しました。



COBOL連携版TF-LINDA (Linux 64bit) V81

- 最新OSをサポートしました。
 - Windows 11、Windows Server 2022に対応しました。
 - RHEL8、RHEL9に対応しました。
- V50L41に対し、以下の機能を追加しました。
 - 文字コードUTF-32のCOBOLデータファイルに対応しました。
 - 文字コードUTF-16（サロゲート文字を含む）のCOBOLデータファイルに対応しました。
 - 利用者定義変換テーブルを用いたデータの変換処理に対応しました。
 - Unicode文字によるデータの入力に対応しました。
 - JEF拡張漢字の表示と入力に対応しました。
 - IPv6環境下での動作に対応しました。

COBOL連携版TF-LINDA (Solaris) V50

- 最新OSをサポートしました。
 - Windows Server 2022、Windows Server 2019、Windows Server 2016に対応しました。
 - Oracle Solaris 11に対応しました。
- V50L70に対し、以下の機能を改善しました。
 - クライアント側インストール先フォルダのセキュリティを強化しました。
 - 本製品が出力するメッセージを改善しました。
 - ユーザーズガイドの記述内容を改善しました。

RDB連携版TF-LINDA (Solaris) V50

【Symfoware連携版】

- 最新OSをサポートしました。
 - Windows 11、Windows 10
Windows Server 2022、Windows Server 2019、Windows Server 2016に対応しました。
 - Oracle Solaris 11に対応しました。
- V50L24に対し、以下の機能を改善しました。
 - クライアント側インストール先フォルダのセキュリティを強化しました。
 - 本製品が出力するメッセージを改善しました。
 - オンラインマニュアルの記述内容を改善しました。

1 データ作成/編集機能

2 データ検証機能

3 データベースサポート機能

4 監査・ログ機能

5 データインポート・エクスポート機能

7-1. 機能紹介 (データ作成/編集機能)

スタンドアロン版

COBOL連携版

RDB連携版

- 豊富な編集機能を利用すると、データを効率よく作成・編集ができます。
- 補助編集機能を利用すると特殊/異常系データを容易に作成できます。

メイン編集画面

データ編集作業を行うメイン画面です。
用途に応じた2種類の編集画面を用意しています。

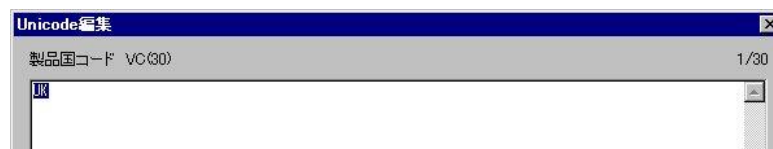
【一覧形式画面】
データを一覧表示しながら編集ができます。

項目名	属性	伝票番号	製品コード	製品名	相番	データ内容
1	X(10)	11	21		41 46 50 59 67	
2	X(10)	H274920183	H274920183	バーコードリーダー	69800 +0002 +000139600	19951001 小林
3	X(10)	H274920183	H274920183	バーコードリーダー	69800 +0001 +000069800	19951011 田畑
4	N(10)	H637292735	H637292735	高速クラスキャナ	80000 +0001 +000090000	19951003 相原
5	N(10)	H637292735	H637292735	高速クラスキャナ	80000 +0010 +000900000	19951009 清水

【レコード形式画面】
レイアウトを意識した編集ができます。

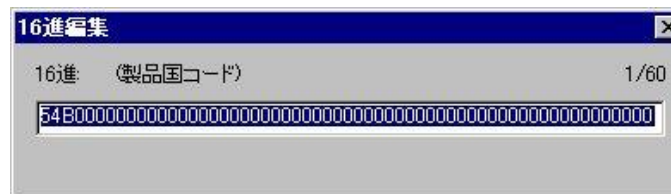
アイテム番号	アイテム名	属性	相番	データ内容
01	売上レコード		1	
02	伝票番号	X(10)	1	T9510-A-01
02	製品コード	X(10)	11	H274920183
02	製品名	N(10)	21	バーコードリーダー
		9(5)	41	69800
		S9(4)	46	+0002
		S9(9)	50	+000139600
		9(8)	59	19951001
		N(20)	67	小林機械株式会社

補助編集機能



【Unicode/マルチライン編集】

- ・文章などのデータを複数行で表示/編集できます。
 - ・Unicode固有文字などの表示/入力ができます。
- ※スタンドアロン/COBOL連携版 (Linux 64bit) は、Unicode固有文字を直接メイン編集画面で表示/入力できます。



【16進編集】

- ・文字列をバイナリ（16進数）で表示/入力できます。
 - ・データ検証や非文字など、特殊データの作成ができます。
- ※スタンドアロン/COBOL連携版は、機能アップした16進編集バーを提供しています。

7-1. 機能紹介 (データ作成/編集機能)

スタンドアロン版

COBOL連携版

RDB連携版

- 生成書式の設定機能を利用すると、データの自動生成、大量データの一括作成ができ、データ作成作業を軽減できます。

生成書式の設定

データ生成

項目名	属性	書式	開始値	終了値	増分値	レベル	件数
伝票番号	X(10)	%5S	AAAAA	ZZZZZ	1		
製品コード	X(10)	%5S	AAAAA	ZZZZZ	1		
製品名	N(10)	%10N					
単価	9(5)	%5U					
売上数量	S9(4)	%4D					
売上高	S9(9)	%9D					

項目ごとに生成方法を指定します。

【書式の編集】
生成方法をカスタマイズし、
多様なデータを生成できます。

生成データ

COPYTI.DAT - SIMPLIA TF-LINDA

項目名	ステータス	伝票番号	製品コード	製品名	単価	売上数量	売上高	売上年月日	顧客
伝票番号		AAAAA							
属性		X(10)	X(10)	N(10)	9(5)	S9(4)	S9(9)	9(8)	N(20)
相番		1	11	21	41	46	50	59	87
1	追加	AAAAA	AAAAA	ああああああああ	00001	+0001	+000000001	00000001	あ
2	追加	AAAAB	AAAAB	い	00002	+0002	+000000002	00000002	い
3	追加	AAAAC	AAAAC	い	00003	+0003	+000000003	00000003	い
4	追加	AAAAD	AAAAD	う	00004	+0004	+000000004	00000004	う
5	追加	AAAAE	AAAAE	う	00005	+0005	+000000005	00000005	う
6	追加	AAAAF	AAAAF	え	00006	+0006	+000000006	00000006	え
7	追加	AAAAG	AAAAG	え	00007	+0007	+000000007	00000007	え
8	追加	AAAAH	AAAAH	お	00008	+0008	+000000008	00000008	お
9	追加	AAAAI	AAAAI	お	00009	+0009	+000000009	00000009	お
10	追加	AAAAJ	AAAAJ	か	00010	+0010	+000000010	00000010	か
11	追加	AAAAK	AAAAK	か	00011	+0011	+000000011	00000011	か
12	追加	AAAAL	AAAAL	き	00012	+0012	+000000012	00000012	き
13	追加	AAAAM	AAAAM	き	00013	+0013	+000000013	00000013	き
14	追加	AAAAN	AAAAN	<	00014	+0014	+000000014	00000014	<
15	追加				00000	+0000	+000000000	00000000	



CSV形式ファイルへ出力することも可能です。
※RDB連携版のみの機能

7-2. 機能紹介 (データ検証機能)

スタンドアロン版

COBOL連携版

RDB連携版

- 豊富なデータ抽出機能を利用すると、対象データの絞り込みが柔軟かつ容易に行えます。

スタンドアロン版、COBOL連携版

RDB連携版

テストケース選択 (v1イリ)

データファイル名
フォルダ: C:\Sample\TF-LINDA
ファイル名: COPYT1.DAT

データファイルの編集モード
 更新(U) 表示(V) 追加(D)

テストケース情報
テストケースの設定(T)...

フォーマット情報
ファイル名: COPYT1.COB
レコード名: 売上レコード
レコード長: 500
ファイル種別: COBOL登録集
バイトリ: WORD
アイテムセレクト(M)...

データファイル情報
ファイル編: ...
レコード形: ...
レコード長: ...
最小レコ: ...
キー情報: ...
コード情報: シフトJIS

条件設定
確定条件一覧(L)
伝票番号 完全一致 T9510-A-01

演算子(M): 完全一致
条件値(K): T9510-A-01

更新(U) ↑ 削除(D)

OR(O)

項目選択(S)...

OK キャンセル ヘルプ

・ 指定した条件に一致するレコードのみ表示できます。
・ 対象となるデータの絞り込みが容易に行えます。

・ 全件抽出 (最大10万件)
・ 格納順範囲抽出
・ データ条件抽出 (※)

※ 【データ条件抽出】
データの内容をキーとして
より細かな絞り込みが
できます。
ただし、スタンドアロン版
のみ利用できます。

テストケース選択

表名
スキーマ名: TEST_SC2

抽出条件(T): 条件A*カン1

WHERE句条件指定
条件設定(W)...

条件内容
消費税 > 100
OR 数量 <= 2000

列選択
 全列(A)

コメント:

条件設定
確定条件一覧(L)
消費税 > 100
OR 数量 <= 2000

演算子(M): 100

条件値(K):

更新(U) 追加(D) 削除(D)

列選択(S)...

条件式(C):

コメント(Q):

OK キャンセル ヘルプ

・ 全件抽出 (最大10万件)
・ 選択列のみ抽出
・ 抽出条件による抽出
・ 抽出結果のソート機能

【抽出条件の設定】
SQL文のWHERE句に指定
できる条件を設定して絞り
込みを行います。

7-2. 機能紹介 (データ検証機能)

スタンドアロン版

COBOL連携版

RDB連携版

- 印刷機能を利用すると、編集画面の対象データを一覧形式で印刷できます。
- 印刷物は机上検証や、納品ドキュメントとして利用できます。

【編集画面】

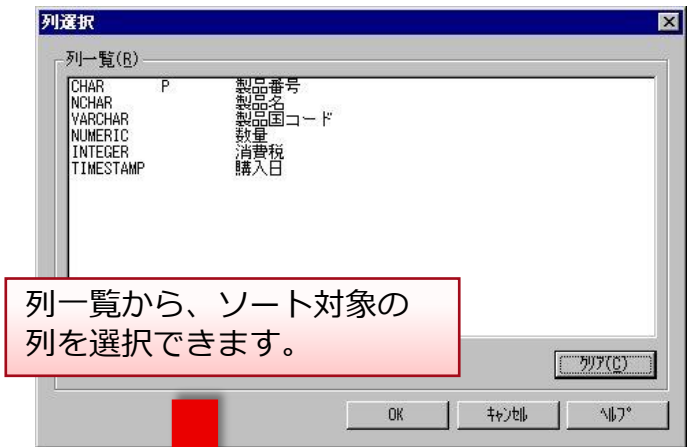
【印刷プレビュー画面】

データ内容を項目区切りや16進形式など、必要に応じた形で印刷できます。

項目名	スリーヌ	伝票番号	製品コード	製品名	単価	売上数量	売上高	売上年月日	顧客名
属性		X(10)	X(10)	N(10)	9(5)	S9(4)	S9(9)	9(8)	N(20)
相番		1	11	21					
1		T9510-A-01	H274920183	バーコードリーダー	6980	+0002	+000139500	19951001	小林機械株式会社
2		T9510-A-02	H274920183	バーコードリーダー	6980	+0001	+000059500	19951011	田嶋機器株式会社
3		T9510-B-01	H637292735	高速カラスキャナ	9000	+0001	+000090000	19951003	相原製作所
4		T9510-B-02	H637292735	高速カラスキャナ	9000	+0010	+000900000	19951009	清水広吉株式会社
5		T9510-B-03	H63729273	高速カラーキャナ	9000	+0002	+000180000	19951012	小林機械株式会社
6		T9510-C-01	H748446290	スキャナ接続ボード	3000	+0002	+000060000	19951012	小林機械株式会社
7		T9510-D-01	H77293855	増設光ディスク	9900	+0002	+000198000	19951013	沢田通商株式会社
8		T9510-D-02	H77293855	増設光ディスク	9900	+0010	+000990000	19951015	丸山電子機器株式会社
9		T9510-E-01	H882743638	日本語キーボード	0880	+0012	+000105000	19951003	黒沢法律事務所
10		T9510-E-02	H882743638	日本語キーボード	0880	+0020	+000176000	19951015	坂上建設株式会社
11		T9510-E-03	H882743638	日本語キーボード	0880	+0100	+000880000	19951017	山下通商機器株式会社
12		T9510-F-01	H893822833	マウスMA-1S	0350	+0012	+000042000	19951003	黒沢法律事務所
		T9510-G-01	H918274828	キーボード防護カバー	0260	+0010	+000026000	19951027	東京文具販売株式会社
		T9510-G-02	H918274828	キーボード防護カバー	0260	+0005	+000013000	19951030	田町機械工業株式会社

7-2. 機能紹介 (データ検証機能)

- ソート機能を利用すると、対象データの並び替えができ、目的のデータを容易に特定できます。



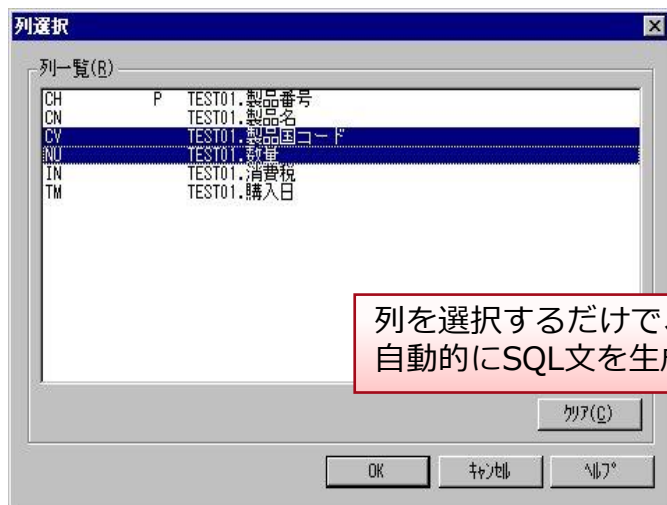
列一覧から、ソート対象の列を選択できます。

指定された項目のデータ値により昇順・降順にレコードの並び替えができます。
※データのソートは、データの抽出時に行っています。

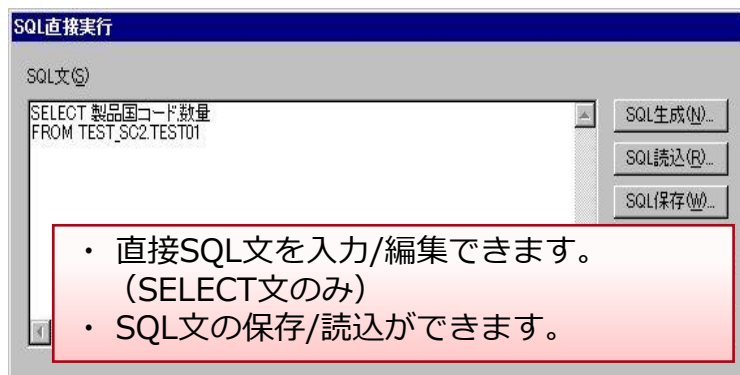


7-2. 機能紹介 (データ検証機能)

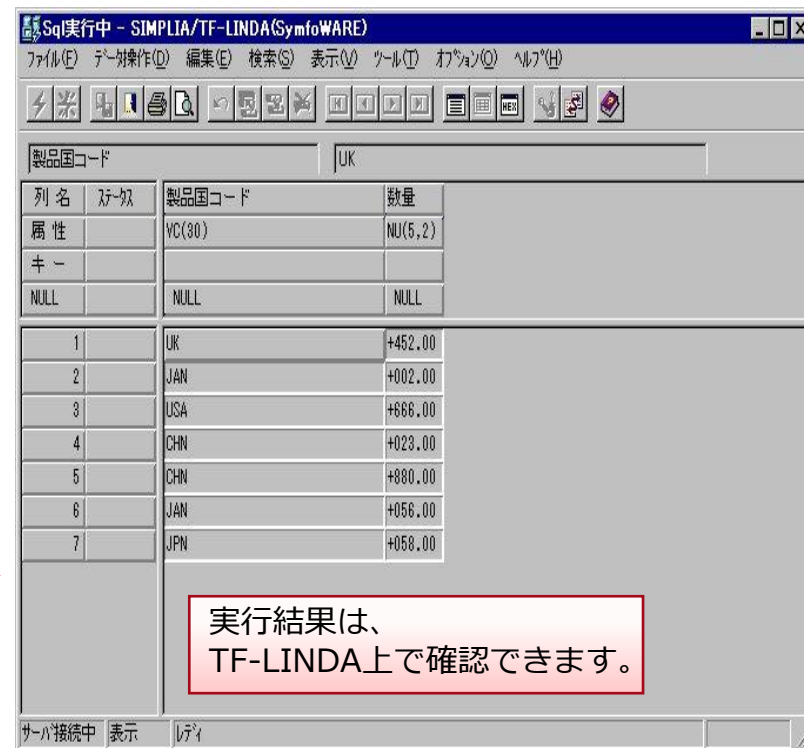
- SQL文の直接実行機能を利用すると、データ抽出までのユーザ操作の軽減、および既存SQL文の読込実行などの検証作業を効率化できます。



列を選択するだけで、自動的にSQL文を生成します。



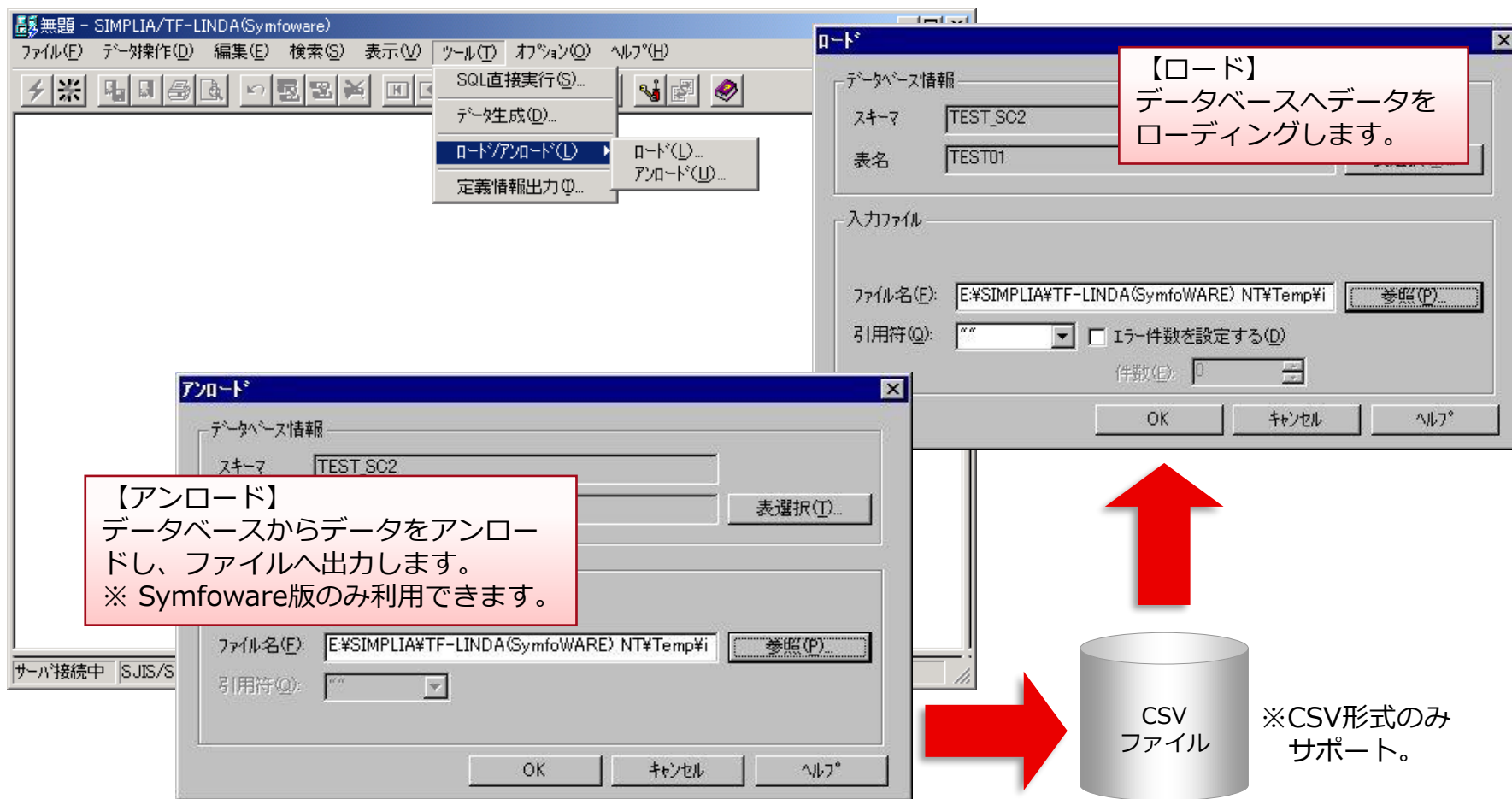
- ・ 直接SQL文を入力/編集できます。(SELECT文のみ)
- ・ SQL文の保存/読込ができます。



実行結果は、TF-LINDA上で確認できます。

7-3. 機能紹介 (データベースサポート機能)

- データベースの機能を利用すると、データベースへの直接ロード/アンロードができます。これによりコマンド発行、データ転送作業が省略でき、作業を効率化できます。



- データベースの機能を利用すると、煩雑なデータベースコマンドを利用することなく、定義情報 (表一覧/列一覧/インデックス一覧) を容易に確認できます。

定義情報出力

データベース名
SIMP_DB2

スキーマ名
TEST_SC2

出力先ファイル

表一覧情報(T)
ファイル名(G): E:\SIMPLIA\TF-LINDA(SymfoWARE) NT\Tem

列一覧情報(C)
ファイル名(R):

インデックス一覧情報(D)
ファイル名(S):

OK キャンセル

データベース、スキーマ内の下記情報をファイルへ出力します。

- ・表一覧情報
- ・列一覧情報
- ・インデックス一覧情報

Microsoft Excel - imfo.csv

MS-Pゴシック 9 B I U

A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	K
1	所有者	表名	種別							
2	ADMINIST_ATT_CHAI	表								
3	ADMINIST_GRANT_S	表								
4	ADMINIST_TEST01	表								
5	ADMINIST_TEST02	表								
6	ADMINIST_TEST03	表								
7	ADMINIST_TEST04	表								
8	ADMINIST_TEST05	表								
9	ADMINIST_TEST06	表								
10	ADMINIST_TEST07	表								
11	ADMINIST_TEST08	表								
12	ADMINIST_TEST12	表								
13	ADMINIST_TEST14	表								
14	ADMINIST_TEST15	表								
15	ADMINIST_TEST16	表								
16	ADMINIST_TEST18	表								
17	ADMINIST_TEST19	表								

情報はCSVファイル形式で出力されます。他のアプリケーションでも利用できます。

7-4. 機能紹介 (監査・ログ機能)

COBOL連携版

RDB連携版

- 監査・ログ機能を利用すると、セキュリティのための接続中ユーザ情報、使用中資源情報などのアクセスログが確認できます。

```
System      :FUJITSU Software SIMPLIA TF-LINDA(COBOL) (64bit)
Version     :V81L10(81.10.0.0)
Date        :2020/01/17 15:50:00
Connect User :2
DataCount   :1
```

USER INFORMATION

UserID/IPAddress/ProcessNO:UserA/::ffff:1.xx.xx.11/555

UserID/IPAddress/ProcessNO:UserB/::ffff:1.xx.xx.22/777

DATA INFORMATION

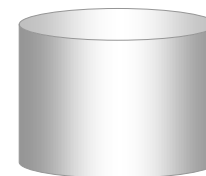
UserID/IPAddress/ProcessNO:UserA/::ffff:1.xx.xx.11/555
AccessType:Update Data
FileName:/A.DAT

誰 (ユーザID) が、

どの端末 (IPアドレス) から、

どのファイル (ファイル名) に

何を (参照?更新?) しているか



接続しているユーザの情報、使用している資源情報などを確認できます。

7-5. 機能紹介 (データインポート・エクスポート機能)

スタンドアロン版

COBOL連携版

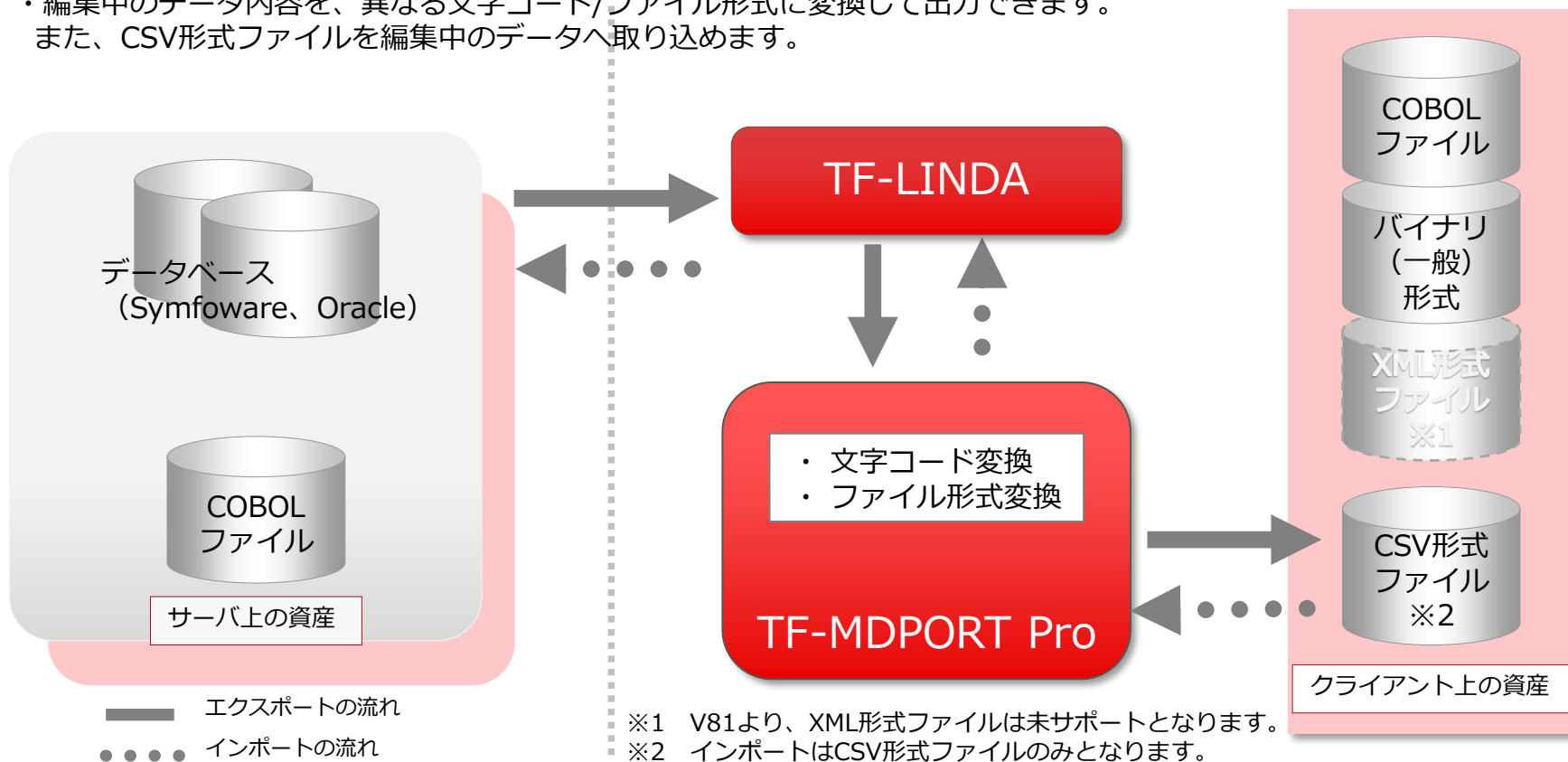
RDB連携版

- データインポート・エクスポート機能を利用すると、TF-MDPORT Proと連携して異なる文字コード/ファイル形式への変換ができます。これにより、既存データからの流用や、他システムへのデータ移行など、多様な用途に利用できます。

サーバ

クライアント

- 編集集中のデータ内容を、異なる文字コード/ファイル形式に変換して出力できます。また、CSV形式ファイルを編集集中のデータへ取り込めます。



8. 製品一覧 (1) Windows版 (64bit)

※価格はすべて税別表記です。

Windows版 TF-LINDA (64bit)	バージョン レベル	価格		プログラムサポート	
		一括 (円)	月額 (円) ※	月額 (円)	年額 (円)
SIMPLIA TF-LINDA V81 (64bit) メディアパック	V81L20	10,000	—	—	—
SIMPLIA TF-LINDA V81 (64bit) 1プロセッサライセンス	V81	80,000	6,300	4,400	48,400
SIMPLIA TF-LINDA V81 (64bit) 1プロセッサライセンス 移行用		40,000	—		

※月額用製品とは、月単位で使用権購をご入いただける商品です。プログラムサポートサービスを含んでいます。

必須/関連ソフトウェア	バージョンレベル	必須	関連	備考
Windows® 11 Windows® 10 Windows Server® 2022 Windows Server® 2019 Windows Server® 2016		○		左記のいずれかのOSが必要です。
NetCOBOL (*1)	V11.0.1～ V12.2.0 (12a)		○	扱うデータファイルのファイル編成が、行順編成/索引編成/相対編成の場合、およびレコード形式が可変長のファイルを扱うことができます。
Interstage Charset Manager (*1)	V9.5.1～ V9.6.0 V10.0.0		○	コード変換処理にCharset Managerを使用することができます。JEF コードの変換や利用者定義文字の変換を行うのであれば、Charset Managerを使用してください。データファイルのコードがUTF-16またはUTF-32の場合は必須です。
JEF拡張漢字サポート (*1)	V8.0.0～ V9.3.0		○	JEF拡張漢字、JEF拡張非漢字、利用者定義文字を利用したデータの編集/表示/印刷を行うことができます。
SIMPLIA TF-MDPORT Pro (64bit) (*1)	V81L10～ V81L20		○	編集データを他形式(コード、データ構造、ファイル編成等)に変換することができます。

(*1) 64bit版の製品が必要です。

8. 製品一覧 (2) Windows版 (32bit)

※価格はすべて税別表記です。

Windows版 TF-LINDA (32bit)	バージョン レベル	価格		プログラムサポート	
		一括 (円)	月額 (円) ※	月額 (円)	年額 (円)
SIMPLIA TF-LINDA V81 メディアパック	V81L20	10,000	-	-	-
SIMPLIA TF-LINDA V81 プロセッサライセンス	V81	80,000	6,300	4,400	48,400
SIMPLIA TF-LINDA V81 移行用プロセッサライセンス		40,000	-		

※月額用製品とは、月単位で使用権購をご入いただける商品です。プログラムサポートサービスを含んでいます。

必須/関連ソフトウェア	バージョンレベル	必須	関連	備考
Windows® 11 Windows® 10 Windows Server® 2022 Windows Server® 2019 Windows Server® 2016		○		左記のいずれかのOSが必要です。 64bit用のOSをご使用の場合は、WOW64環境で動作します。
NetCOBOL (*1)	V11.0.1～ V12.2.0 (12a)		○	扱うデータファイルのファイル編成が、行順編成/索引編成/相対編成の場合、およびレコード形式が可変長のファイルを扱うことができます。
YPS/COBOL Pro	V5.2L10～ V5.3aL20		○	YPSインクルード仕様書を解析することができます。
YPS/COBOL Std	V5.1L11～ V5.1aL20		○	YPSインクルード仕様書を解析することができます。
Interstage Charset Manager (*2)	V9.5.1～ V9.6.0 V10.0.0		○	コード変換処理にCharset Managerを使用することができます。 JEF コードの変換や利用者定義文字の変換を行うのであれば、Charset Managerを使用してください。 データファイルのコードがUTF-16またはUTF-32の場合は必須です。
JEF拡張漢字サポート (*1)	V8.0.0～ V9.3.0		○	JEF拡張漢字、JEF拡張非漢字、利用者定義文字を利用したデータの編集/表示/印刷を行うことができます。
SIMPLIA TF-MDPORT Pro (*1)	V81L10～ V81L20		○	編集データを他形式(コード、データ構造、ファイル編成等)に変換することができます。

(*1) 32bit版の製品が必要です。

(*2) V9.5.1～V9.6.0では、Windows 32bit版の製品が必要です。

V10.0.0は、64bit版のみの製品ですが、本製品と組み合わせて使用可能です。

8. 製品一覧 (3) Solaris版 COBOL連携

※価格はすべて税別表記です。

Solaris版 TF-LINDA COBOL連携	バージョン レベル	機種クラス	価格	プログラムサポート	
			一括 (円)	月額 (円)	年額 (円)
SIMPLIA TF-LINDA (COBOL) V50	V50L80	K	165,000	5,500	60,500
		L	330,000	11,000	121,000
		M	660,000	22,000	242,000
		N	1,320,000	44,000	484,000
SIMPLIA TF-LINDA (COBOL) V50 1コピーライセンス	V50		44,000	-	-
SIMPLIA TF-LINDA (COBOL) V50 5コピーライセンス		171,600			
SIMPLIA TF-LINDA (COBOL) V50 20コピーライセンス		660,000			
SIMPLIA TF-LINDA (COBOL) V50 2台目以降	V50L80	K	132,000	5,500	60,500
		L	264,000	11,000	121,000
		M	528,000	22,000	242,000
		N	1,056,000	44,000	484,000
SIMPLIA TF-LINDA (COBOL) V50 移行用	V50L80	K	82,500	5,500	60,500
		L	165,000	11,000	121,000
		M	330,000	22,000	242,000
		N	660,000	44,000	484,000

8. 製品一覧 (4) Solaris版 COBOL連携

必須/関連ソフトウェア	バージョンレベル	必須	関連	備考
Oracle Solaris	11	○		
Windows® 11 Windows® 10 Windows Server® 2022 Windows Server® 2019 Windows Server® 2016		○		左記のいずれかのOSが必要です。
NetCOBOL	サーバ側： V10.2.1～ V10.5.0	○		
	クライアント側： V11.0.0～ V12.2.0		○	COBOL登録集の解析にCOBOLコンパイラを使用することができます。
YPS/COBOL Pro または YPS/COBOL Std	V5.1L10～ V5.3L20 V5.1L10～ V5.1L20		○	YPSインクルード仕様書を解析することができます。
Interstage Charset Manager	V9.4.0～ V9.6.0		○	コード変換処理にCharset Managerを使用することができます。 JEF コードの変換や利用者定義文字の変換を行うのであれば、Charset Managerを使用してください。
JEF拡張漢字サポート	V8.0.0 V9.0.0		○	JEF拡張漢字、JEF拡張非漢字、利用者定義文字を利用したデータの編集/表示/印刷を行うことができます。
SIMPLIA TF-MDPORT (32bit)	V71L10		○	編集データを他形式(コード、データ構造、ファイル編成等)に変換することができます。

8. 製品一覧 (5) Solaris版 Oracle連携

※価格はすべて税別表記です。

Solaris版 TF-LINDA Oracle連携	バージョン レベル	機種クラス	価格	プログラムサポート	
			一括 (円)	月額 (円)	年額 (円)
SIMPLIA TF-LINDA (Oracle) V50	V50L30	K	217,800	5,500	60,500
		L	435,600	11,000	121,000
		M	871,200	22,000	242,000
		N	1,742,400	44,000	484,000
SIMPLIA TF-LINDA (Oracle) V50 1コピーライセンス	V50		55,000	-	-
SIMPLIA TF-LINDA (Oracle) V50 5コピーライセンス		214,500			
SIMPLIA TF-LINDA (Oracle) V50 20コピーライセンス		825,000			
SIMPLIA TF-LINDA (Oracle) V50 2台目以降	V50L30	K	174,900	5,500	60,500
		L	349,800	11,000	121,000
		M	699,600	22,000	242,000
		N	1,399,200	44,000	484,000
SIMPLIA TF-LINDA (Oracle) V50 移行用	V50L30	K	108,900	5,500	60,500
		L	217,800	11,000	121,000
		M	435,600	22,000	242,000
		N	871,200	44,000	484,000

8. 製品一覧 (6) Solaris版 Oracle連携

必須/関連ソフトウェア	バージョンレベル	必須	関連	備考
Oracle Solaris	8~10	○		
Windows® 2000 Windows® XP Windows Server® 2003		○		左記のいずれかのOSが必要です。
ADJUST または SystemWalker	V2.1L10以降		○	日本語データのコード変換機能を提供し日本語データの流通を支援します。
CharsetMGR (最新版はInterstage製品)	V5.0L10		○	ADJUSTを使用した変換を行う場合に必要です。JEFコードの変換や利用者定義文字の変換を行うのであればADJUSTを使用してください。
SIMPLIA TF-MDPORT	V50以降		○	編集データを他形式（コード、データ構造、ファイル編成等）に変換することができます。 (MDPORT連携)
	V60以降			MDPORT連携で、Unicodeデータ、XML形式ファイルを扱う場合に必要です。

8. 製品一覧 (7) Solaris版 Symfoware連携

※価格はすべて税別表記です。

Solaris版 TF-LINDA Symfoware連携	バージョン レベル	機種クラス	価格	プログラムサポート	
			一括 (円)	月額 (円)	年額 (円)
SIMPLIA TF-LINDA (Symfo) V50	V50L30	K	217,800	5,500	60,500
		L	435,600	11,000	121,000
		M	871,200	22,000	242,000
		N	1,742,400	44,000	484,000
SIMPLIA TF-LINDA (Symfo) V50 1コピーライセンス	V50		55,000	-	-
SIMPLIA TF-LINDA (Symfo) V50 5コピーライセンス		214,500			
SIMPLIA TF-LINDA (Symfo) V50 20コピーライセンス		825,000			
SIMPLIA TF-LINDA (Symfo) V50 2台目以降	V50L30	K	174,900	5,500	60,500
		L	349,800	11,000	121,000
		M	699,600	22,000	242,000
		N	1,399,200	44,000	484,000
SIMPLIA TF-LINDA (Symfo) V50 移行用	V50L30	K	108,900	5,500	60,500
		L	217,800	11,000	121,000
		M	435,600	22,000	242,000
		N	871,200	44,000	484,000

8. 製品一覧 (8) Solaris版 Symfoware連携

必須/関連ソフトウェア	バージョンレベル	必須	関連	備考
Oracle Solaris	11	○		
Windows® 11 Windows® 10 Windows Server® 2022 Windows Server® 2019 Windows Server® 2016		○		左記のいずれかのOSが必要です。
Interstage Charset Manager	V9.4.0~ V9.6.0		○	コード変換処理にCharset Managerを使用することができます。
SIMPLIA TF-MDPORT (32bit)	V71L10		○	編集データを他形式(コード、データ構造、ファイル編成等)に変換することができます。

8. 製品一覧 (9) x64Linux版 COBOL連携

※価格はすべて税別表記です。

x64Linux版 TF-LINDA COBOL連携	バージョン レベル	価格		プログラムサポート	
		一括 (円)	月額 (円) ※	月額 (円)	年額 (円)
SIMPLIA TF-LINDA (COBOL) (Linux 64bit) V81 メディアパック	V81L20	11,000	-	-	-
SIMPLIA TF-LINDA (COBOL) (Linux 64bit) V81 1プロセッサ	V81	132,000	9,100	5,280	58,080
SIMPLIA TF-LINDA (COBOL) (Linux 64bit) V81 移行用		66,000	-	-	-
SIMPLIA TF-LINDA (COBOL) (Linux 64bit) V81 1コピーライセンス		44,000	-	-	-
SIMPLIA TF-LINDA (COBOL) (Linux 64bit) V81 5コピーライセンス		171,600	-	-	-

※月額用製品とは、月単位で使用权をご購入いただける商品です。プログラムサポートサービスを含んでいます。

必須/関連ソフトウェア	バージョンレベル	必須	関連	備考
RedHat Enterprise Linux (for Intel64)	8 (※備考参照) 9.0	○		RHEL8.6より前のバージョンの基本ソフトウェア(例: RHEL8.4)を使用する場合は、製品CD-ROM同梱の前版V81L10を使用してください。
Windows® 11 Windows® 10 Windows Server® 2022 Windows Server® 2019 Windows Server® 2016		○		左記のいずれかのOSが必要です。
NetCOBOL	サーバ側: V10.3.0~ V12.1.0	○		
	クライアント側: V10.1.0~ V12.2.0		○	COBOL登録集の解析にCOBOLコンパイラを使用することができます。

8. 製品一覧 (10) x64Linux版 COBOL連携

必須/関連ソフトウェア	バージョンレベル	必須	関連	備考
YPS/COBOL Pro または YPS/COBOL Std	V5.1L10～ V5.3aL20 V5.1L10～ V5.1aL20		○	YPSインクルード仕様書を解析することができます。
Interstage Charset Manager	V9.4.0～ V10.0.0		○	コード変換処理にCharset Managerを使用することができます。 JEF コードの変換や利用者定義文字の変換を行うのであれば、 Charset Managerを使用してください。 データファイルのコードがUTF-16またはUTF-32の場合は必須 です。
JEF拡張漢字サポート	V8.0.0～ V9.3.0		○	JEF拡張漢字、JEF拡張非漢字、利用者定義文字を利用したデー タの編集/表示/印刷を行うことができます。
SIMPLIA TF-MDPORT (32bit)	V81L10～ V81L11		○	編集データを他形式(コード、データ構造、ファイル編成等)に 変換することができます。

8. 製品一覧 (11) x64Linux版 Symfoware連携

※価格はすべて税別表記です。

x64Linux版 TF-LINDA Symfoware連携	バージョン レベル	価格	プログラムサポート	
		一括 (円)	月額 (円)	年額 (円)
SIMPLIA TF-LINDA (SYM) メディアパック V50	V50L30	11,000	-	-
SIMPLIA TF-LINDA (SYM) ライセンス V50	V50	132,000	5,280	58,080
SIMPLIA TF-LINDA (SYM) 追加プロセッサ V50		105,600	5,280	58,080
SIMPLIA TF-LINDA (SYM) 追加使用权 V50		105,600	5,280	58,080
SIMPLIA TF-LINDA (SYM) 1クライアントライセンス V50		44,000	-	-
SIMPLIA TF-LINDA (SYM) 5クライアントライセンス V50		171,600	-	-
SIMPLIA TF-LINDA (SYM) 20クライアントライセンス V50		660,000	-	-

必須/関連ソフトウェア	バージョンレベル	必須	関連	備考
RedHat Enterprise Linux (for Intel64)	5	○		
Windows® XP SP3 Windows Vista® SP2 Windows® 7 Windows Server® 2003 R2 SP2 Windows Server® 2008 SP2		○		左記のいずれかのOSが必要です。
ADJUST または SystemWalker	V2.1L10以降		○	日本語データのコード変換機能を提供し日本語データの流通を支援します。 ADJUSTを使用した変換を行う場合に必要です。JEFコードの変換や利用者定義文字の変換を行うのであればADJUSTを使用してください。
CharsetMGR (最新版はInterstage製品)	V5.0L10以降		○	
SIMPLIA TF-MDPORT	V60L10以降		○	編集データを他形式(コード、データ構造、ファイル編成等)に変換することができます。(MDPORT連携) MDPORT連携で、Unicodeデータ、XML形式ファイルを扱う場合に必要です。

～ お客様のご要望にお答えします ～



Q/Aサービス

製品の使い方や適用例について詳しく聞きたい

無償レベルアップサービス

レベルアップ版は無償で提供して欲しい

最新情報のご案内サービス

新製品情報、バージョン/レベルアップ情報を知りたい

トライアルユースサービス

導入検討中のSIMPLIA製品を試用したい

製品媒体再提供サービス

紛失・破損した製品媒体を再提供して欲しい

障害情報通知サービス

導入製品の障害情報を提供して欲しい

SIMPLIAに関する最新の情報は、下記URLの富士通サイト内検索から「SIMPLIA」で検索してください。

URL : <https://www.fujitsu.com/jp/>

Thank you

